

ブループリント（医師国家試験設計表）

〔出題割合は概数なので、必ずしも合計が100%にならない場合もある。最右列の数字は該当頁。〕

【必修の基本的事項】

1	医師のプロフェッショナリズム	約4%	14
2	社会と医療	約6%	14
3	診療情報と諸証明書	約2%	14
4	医療の質と安全の確保	約4%	15
5	人体の構造と機能	約3%	15
6	医療面接	約6%	16
7	主要症候	約15%	17
8	一般的な身体診察	約13%	19
9	検査の基本	約5%	20
10	臨床判断の基本	約4%	21
11	救急初期診療	約9%	21
12	主要疾患・症候群	約10%	22
13	治療の基本	約4%	25
14	基本的手技	約4%	25
15	死、緩和ケア、終末期ケア	約2%	25
16	チーム医療	約2%	26
17	生活習慣とリスク	約5%	26
18	一般教養的事項	約2%	27

【医学総論】

I 保健医療論 約13%

1	健康・疾病・障害の概念と社会環境	約20%	30
2	社会保障制度と医療経済	約10%	30
3	保健・医療・福祉・介護の仕組み	約15%	30
4	保健・医療・福祉・介護の資源	約15%	31
5	保健・医療・福祉・介護関係法規	約15%	31
6	地域保健、地域医療	約15%	32
7	国際保健	約10%	33

II 予防と健康管理・増進 約17%

1	予防医学と健康保持増進	約12%	35
2	人口統計と保健統計	約8%	35
3	疫学とその応用	約8%	35
4	母子保健	約12%	36
5	成人保健	約4%	36
6	高齢者保健	約4%	36
7	精神保健福祉	約8%	36
8	感染症対策	約16%	36
9	国民栄養と食品保健	約4%	37
10	学校保健	約4%	37
11	産業保健	約8%	37
12	環境保健	約12%	38

III 人体の正常構造と機能 約9%

1	個体の構造	約8%	40
2	皮膚、頭頸部、感覚器、発声器	約15%	40
3	呼吸器、胸郭、胸壁	約8%	41
4	心臓、脈管	約8%	41
5	消化器、腹壁、腹膜	約8%	42
6	血液、造血器	約8%	42
7	腎、泌尿器、生殖器	約8%	43
8	心理、精神、神経、運動器	約15%	43
9	内分泌、代謝、栄養	約8%	44
10	免疫	約15%	45

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢 約 9%

1	妊娠	約 15%	46
2	分娩	約 15%	46
3	産褥	約 8%	46
4	胎児	約 8%	46
5	新生児	約 15%	47
6	小児期	約 15%	47
7	思春期、青年期	約 8%	48
8	加齢、老化	約 15%	48

V 病因、病態生理 約 12%

1	疾病と影響因子	約 6%	49
2	先天異常	約 11%	49
3	損傷、炎症	約 11%	49
4	感染	約 11%	50
5	アレルギー、免疫異常	約 6%	50
6	腫瘍	約 11%	50
7	循環障害、臓器不全	約 6%	51
8	内分泌・代謝・栄養の異常	約 11%	51
9	中毒、放射線障害	約 11%	51
10	医原病	約 6%	52
11	死	約 11%	52

VI 症候 約 12%

1	全身症候	約 17%	53
2	皮膚、外表	約 6%	53
3	頭頸部、感覚器	約 11%	54
4	呼吸器、心臓、血管	約 11%	55
5	消化器	約 11%	56
6	血液、造血器、免疫	約 11%	57
7	腎、泌尿器、生殖器	約 11%	57
8	心理、精神機能	約 6%	57
9	神経、運動器	約 11%	58
10	内分泌、代謝、栄養	約 6%	60

VII 診察 約 7%

1	二次・三次救急の診察	約 30%	61
2	高齢者の診察と評価	約 30%	61
3	小児の診察	約 20%	61
4	胎児・新生児の診察と評価	約 10%	62
5	妊・産・褥婦と胎児の診察	約 10%	62

VIII 検査 約 9%

1	検体検査	約 23%	63
2	生体機能検査	約 23%	65
3	皮膚・感覚器・発声機能検査	約 8%	66
4	心理・精神機能検査	約 8%	67
5	妊娠・分娩・胎児・新生児の検査	約 8%	67
6	画像検査	約 15%	68
7	内視鏡検査	約 15%	70

IX 治療 約 13%

1	食事・栄養療法	約 10%	72
2	薬物療法	約 10%	72
3	輸液、輸血、血液浄化	約 10%	73
4	手術、周術期の管理、麻酔	約 10%	73
5	臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療	約 5%	75
6	放射線治療	約 5%	75
7	インターベンショナルラジオロジー <IVR>	約 5%	76
8	内視鏡治療	約 5%	77
9	リハビリテーション	約 10%	77
10	二次・三次救急の治療	約 15%	78
11	緩和ケア	約 10%	80
12	その他の治療法	約 5%	81

【医学各論】

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常

約 5%

1	妊娠の異常	84
2	分娩・産褥の異常	84
3	胎児・新生児の異常	85
4	性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害	86

II 精神・心身医学的疾患

約 5%

1	症状性を含む器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動障害	87
2	気分障害、統合失調症と類縁疾患	87
3	神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	87
4	生理的障害、身体的要因に関連した障害	87
5	小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害	88

III 皮膚・頭頸部疾患

約 11%

1	炎症性皮膚疾患	89
2	腫瘍・母斑性皮膚疾患	89
3	その他の皮膚疾患	90
4	視機能異常、視神経疾患	91
5	眼窩・外眼部・前眼部・眼球の疾患	91
6	ぶどう膜・網膜・硝子体疾患	91
7	外耳・中耳疾患	92
8	内耳・神経疾患	92
9	鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	93
10	咽頭・口腔・唾液腺疾患	93
11	損傷、奇形	94

IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患

約 7%

1	感染性呼吸器疾患	95
2	気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	95
3	免疫学的機序が考えられる肺疾患	95
4	実質性・間質性肺障害	96
5	肺循環異常	96
6	気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍	96
7	胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常と外傷	97
8	呼吸調節異常	97

V 心臓・脈管疾患

約 10%

1	不整脈	98
2	心不全	98
3	先天性心疾患	98
4	弁膜症	98
5	虚血性心疾患	98
6	心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	99
7	血圧異常	99
8	脈管疾患	99

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患

約 13%

1	食道疾患	101
2	胃・十二指腸疾患	101
3	小腸・結腸疾患	101
4	直腸・肛門疾患	101
5	消化管共通疾患	102
6	肝疾患	102
7	胆道疾患	103
8	膵疾患	103
9	横隔膜・腹膜・腹壁疾患	103
10	急性腹症	103
11	損傷、異物	103
12	その他の重要な小児領域の疾患	104

Ⅶ 血液・造血器疾患 約 5%

1	赤血球系疾患	105
2	白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	105
3	リンパ系疾患	105
4	出血性疾患と血栓傾向	106
5	その他の重要な小児領域の疾患	106

Ⅷ 腎・泌尿器・生殖器疾患 約 12%

1	糸球体病変	108
2	血管・尿細管・間質病変	108
3	腎機能の障害による異常	109
4	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	109
5	腎・尿路・生殖器の炎症	109
6	腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	110
7	女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	110
8	月経異常、不妊、不育	110
9	更年期・閉経後障害	111
10	その他の尿路・生殖器異常	111

Ⅸ 神経・運動器疾患 約 9%

1	脳血管障害	113
2	脳腫瘍	113
3	神経・運動器の感染性・炎症性疾患	113
4	神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒	114
5	末神経・神経筋接合部・筋疾患	114
6	発作性・機能性・自律神経系疾患	115
7	脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	115
8	上肢・下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	116
9	骨・軟部腫瘍と類似疾患	116
10	神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経皮膚症候群、その他	117
11	その他の重要な小児領域の疾患	118

X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患 約 8%

1	間脳・下垂体疾患	119
2	甲状腺疾患	119
3	副甲状腺<上皮小体>疾患とカルシウム・リン代謝異常	119
4	副腎皮質・髄質疾患	119
5	その他の内分泌疾患	119
6	糖{質}代謝異常	120
7	脂質代謝異常	120
8	タンパク・アミノ酸代謝異常	120
9	その他の代謝異常	120
10	その他の重要な小児領域の疾患	121
11	乳腺・乳房疾患	121

XI アレルギー性疾患、膠原病、免疫病

約 5%

1	アレルギー性疾患	122
2	膠原病と類縁疾患	122
3	原発性免疫不全症	123
4	続発性免疫不全症	123
5	その他の重要な小児領域の疾患	123

XII 感染性疾患 約 8%

1	ウイルス	124
2	クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	124
3	細菌(抗酸菌<マイコバクテリア>を除く)	124
4	抗酸菌<マイコバクテリア>	125
5	真菌、寄生虫、その他の病原体	125

XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患

約 5%

1	食中毒、病害動物による疾患	127
2	アルコールによる障害、薬物依存・中毒	127
3	喫煙による影響	127
4	産業中毒とその他の職業性疾患	127
5	物理的原因・生活環境因子による障害	128